

(茨城県関係国会議員宛て)

要 望 書

《国道349号整備促進について》

【平成29年11月】

国道349号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線であります。その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい区間が残されており、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大によって、歩道等交通安全施設の未整備区間においては、歩行者等が危険にさらされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で、最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。


さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、国が目指す「一億総活躍社会」の実現には、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓に幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められておりますが、正に国道349号はその機能を十分発揮できるものと期待するものであります。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして災害時における幹線道路等の補完機能を十分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所について、早急に改良整備を図られるよう、特段のお力添えを賜りたく、強く要望いたします。

国道 3 4 9 号 整備 促進 要望 箇所

市町村名	要 望 箇 所		事 業 内 容
	箇所名 (地名)	延長 m	
那 珂 市 常 陸 太 田 市	那珂市杉～ 常陸太田市瑞龍町	10,400	道 路 改 良

市町村名	茨城県那珂市・常陸太田市		
要望箇所	那珂市杉～常陸太田市瑞龍町		
	事業内容	道路改良	
	延長 (m)	10,400	
	<p>《現状と要望事項》</p> <p>那珂市杉～常陸太田市瑞龍町の区間は、福島県及び茨城県北部から茨城県都である水戸市及び常磐自動車道那珂ICへのアクセス道路として重要な路線であります。しかしながら、暫定2車線であることや、幸久大橋の直上流に架かる旧道の幸久橋が老朽化のため、平成25年10月以降通行不能となったことから、通行車両が幸久大橋に集中し、朝夕の通勤時や行楽シーズンには大渋滞を生じさせております。</p> <p>つきましては、現在4車線化工事が鋭意進められておりますが、一日も早く円滑な通行が可能となるよう、幸久大橋を含む全区間の早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。</p>		

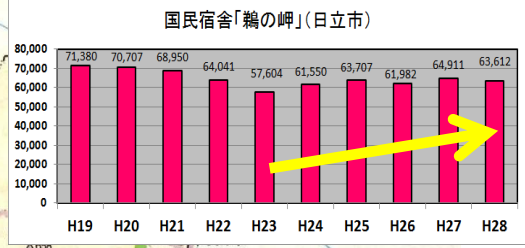
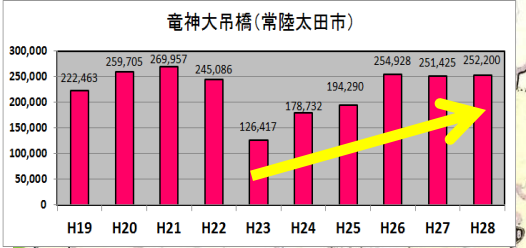


国道349号常陸太田バイパス整備により観光交流人口が増加



国道 349 号常陸太田バイパスの 4 車線化の整備促進

本路線は、本市を南北に縦断して水戸市方面・福島県・宮城県方面へ至る広域幹線道路であるとともに、県北地域の交流・連携を支える道路ネットワークの骨格を形成する重要路線であります。4車線化工事が平成 24 年度から進められており、特に幸久大橋周辺における朝夕の交通渋滞解消のほか、平成 23 年の東日本大震災以降、観光交流人口も震災前まで回復してきており、今後、更に平成 28 年度の道の駅ひたちおおたの開業効果を最大限に発現させるためにも、幸久大橋を含む全線における早急なる 4 車線化が大きく期待されております。



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠 (衆 議 院 議 員)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市 市長)
副会長	岡 部 光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	高 橋	靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	小 川 春	樹 (茨城県 日 立 市 長)
	海 野	徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水 敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張	允 (福島県 矢 祭 町 長)
	宮 田 秀	利 (福島県 塙 町 長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	澤 村 和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田	昭 (福島県 小 野 町 長)
	本 田 仁	一 (福島県 田 村 市 長)
	新 野	洋 (福島県 二 本 松 市 長)
	佐 藤 金	正 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市